

表6 性非行によって補導された女子少年

学職別	総数	学生・生徒						有職少年	無職少年	前年
		小計	小学生	中学生	高校生	大学生	他の学生			
総数	491	299		86	208		5	48	144	324
売春 (売防法)	15	1			1			2	12	
淫行 (児福法)	78	39		5	32		2	11	28	11
みだらな性行為 (条例違反)	204	137		32	105			13	54	106
不純な性行為 (ぐ犯送致)	21	16		13	3				5	20
上記以外の不純な性行為	173	106		36	67		3	22	45	187
前年	324	220		110	105		5	50	54	

(注) この表において、各態様別に競合する場合は、主たる行為に計上した。

て、いわゆる性被害に会った女子中学生も多く、被害者側にも原因の一端があることがうかがえる。(表7)

②性非行の背景

(ア)性非行の潜在的進行の背景には、社会的、文化的環境の悪化がある。まず第一に、人間の尊厳をおとしめ基本的人権をおかす性の商品化が子どもの日常生活をいかに浸蝕しているかがあげられる。

表7 動機別状況

「自らすすんで」が229人で全体の46.6パーセントを占め、中でも「特定の男が好き」が104人で全体の21.2パーセントを占めている。

「誘われて」の中では、「興味(好奇心)から」が111人で、全体の22.6パーセントを占め、最も多くなっている。

動機別	学職別	総数	学生・生徒						有職少年	無職少年
			小計	小学生	中学生	高校生	大学生	その他		
総数		491	299		86	208		5	48	144
自らすすんで	小計	229	133		41	90		2	28	68
	遊ぶ金が欲しくて	5	3		2	1				2
	興味(好奇心)から	94	54		25	28		1	8	32
	セックスが好きで	11	8		1	7			1	2
	生活苦等金に困って	2							2	
	自暴自棄	4	2			2			2	
	特定の男が好きで	104	62		13	48		1	15	27
	その他	9	4			4				5
誘われて	小計	218	132		36	93		3	15	71
	遊ぶ金が欲しくて	79	16		3	13			12	51
	興味(好奇心)から	111	93		30	62		1	2	16
	頼まれて別の男と	17	15		1	12		2		2
	その他	11	8		2	6			1	2
	だまされて	35	29		8	21			4	2
	おどされて	7	5		1	4				2
	その他	2							1	1

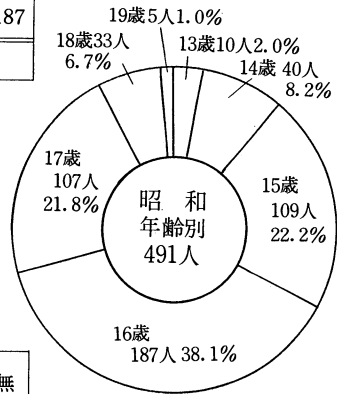


表5 年齢別状況

次いで、子ども自身の問題として、耐性の欠如、勤労意欲の不足、無目的な生活など心の貧しさが共通に指摘されている。

(イ)社会規範における性意識の変化性そのものについての考え方が非常に解放的になりつつあり、性を積極的に、肯定的に見る傾向が強くなつてきており、中・高校生の性意識に影響を与えている。

(ウ)児童・生徒の身体的発達と精神的発達のアンバランス子どもの性的早熟に見合う精神的発達のおくれと、自己抑制力の欠如が、社会に氾濫する性情報から刺激を受けたとき衝動的な行動に走るものと考えられる。

(エ)性非行に走る子どもには生活基盤の崩れがみられる。一つは、家庭における人間関係の